

# 大内中学校通信 紺碧

真岡市立大内中学校 Tel 0285-82-2541  
〒321-4405 真岡市飯貝1159  
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchihsc>



大内中学校  
キャラクター  
『モウモカ』

- ### 学校教育目標
- 1 意欲をもって学習する生徒
  - 2 健康で実践力に富む生徒
  - 3 豊かな心情をもつ生徒
  - 4 すすんで働く生徒

真岡市立大内中学校  
令和5年度 第7号  
令和5年11月発行

## 地球の未来と「大内中SDGs宣言」

校長 上野 光男

朝夕の冷え込みが厳しさを増し、冬の訪れが間近に感じられる季節となりました。10月21日（土）の紺碧祭には、多くの保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。今年度は、テーマを「笑顔」、スローガンを「全力青春〜今楽しめ 笑顔の絶えない 最高の思い出に〜」として実施しました。級友との絆を一層深めるなど、貴重な成長の機会となりました。

また、10月23日（月）には、県学校音楽祭中央祭（合唱）、10月24日（火）には、郡市中学校駅伝競走大会が開催され、生徒たちは日々の練習の成果を存分に発揮してくれました。早朝練習等で御協力を賜りました保護者の皆様には、改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、11月30日から、UAEのドバイで「COP28（国連気候変動枠組条約第28回締約国会議）」が開催されます。この会議は、地球温暖化対策の国際ルールを話し合う大規模な国際会議で、COP3の京都議定書やCOP15のパリ協定などが有名です。パリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追求すること」が目標とされましたが、COP26では、「平均気温上昇1.5度以内」がより強調された形で、「グラスゴー気候合意」が採択されました。地球温暖化に伴う海面上昇の影響で、存続の危機にさらされている南太平洋の国・ツバルの外相が、既に水没したかつての陸地から、ひざまで水につかりながら訴えた苦境にも切迫感がありました。

果たして、地球温暖化の現状は、どのようなものなのでしょうか。

- ◆地球の大気には生命活動に必須の酸素がふんだんにあり、温室効果をもつ二酸化炭素が適度にブレンドされている。そのため、地表の年平均気温は15℃前後で、昼夜の寒暖差も小さく、生命にとってまさに「奇跡の星」となっている。現在は非常に穏やかな気候になっているが、地球が約46億年前に誕生してから現在に至るまで、その気候は激しく変化してきた。
- ◆地球は過去において複数回、赤道付近まで氷に覆われる「スノーボールアース（雪玉地球）」の時代を経験している。氷床の厚さは1000m以上にも及び、液体の水は深海底や火山周辺の地熱地帯にしか存在しなかった。反対に、恐竜の全盛期と言われる白亜紀は非常に高温で、極地方にすら氷床が存在しない「グリーンハウスアース（温室地球）」の状態であった。
- ◆現在は、氷河時代の比較的温暖な時期である間氷期であり、氷床はグリーンランドや南極大陸など極地方にのみ存在している。
- ◆気候変化の要因は様々だが、最も大きな影響力を持つのが大気中の二酸化炭素濃度である。急激な気候変動にブレーキを掛け、一定の振幅に収めているのは、大気とそれ以外の地球（海やマントルなど）との間の炭素のやりとりである。
- ◆しかし、近年、この抜群のフィードバックシステムにほころびが生じている。原因は、化石燃料の使用に伴う、二酸化炭素を中心とした温室効果ガスの大気中への大量放出である。間氷期には約280ppmでほぼ一定だった二酸化炭素濃度は、産業革命以降増え続け、2018年には400ppmに達している。わずか250年足らずで1.4倍に急増、この急激な二酸化炭素濃度上昇と連動するように地球の平均気温は上昇し、2017年時点で産業革命前より1℃上昇、2040年頃には、1.5℃程度の上昇になると言われている。
- ◆このまま温暖化が進行すると、極域にある巨大氷床の融解が進み、海面が今より10～60m上昇する可能性があり、仮に海面が60m上昇すると海岸線が真岡市付近まで来るなど、関東平野はその大部分が水没してしまう。（参考文献：「地球46億年 気候大変動」横山祐典 著 講談社）

このように、二酸化炭素濃度の上昇に伴う地球温暖化は、産業革命以降、非常に短期間で進行し、海面上昇や気候変動等により、世界に危機的状況をもたらしつつあります。このことについて、私たち大人はもちろんですが、未来を生きる生徒たちにも、自分自身の問題として意識してもらう必要があります。SDGsとは「持続可能な開発目標」のことであり、環境問題を含む17のゴールと169のターゲットから構成された国際目標です。3学期には、生徒会が中心となって「大内中SDGs宣言」を发出し、今自分たちができることを明らかにするとともに、問題解決に資する具体的な取組をスタートする予定です。アメリカ先住民の言葉に、「地球は先祖から譲り受けたものではない。子孫から借りているものだ。」というものがありません。私たちの子孫に、「奇跡の星・地球」を持続可能な状態で返せるよう、「大内中SDGs宣言」とともに大内中は確かな一歩を踏み出します。



## 【県新人大会（団体戦） 10/13（金）】



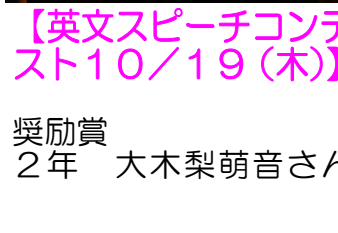
剣道  
大内中 1-2 若松原中  
1 回戦敗退

野球  
大内中・市貝中 3-5 鹿沼東中  
1 回戦敗退

バレーボール  
1 回戦 大内中 2-0 南河内二中  
2 回戦 大内中 0-2 陽西中 2 回戦敗退

【個人】ソフトテニス 1 回戦 大田和・大塚ペア 2-4 小山中 1 回戦敗退

## 【紺碧祭 10/21（土）】



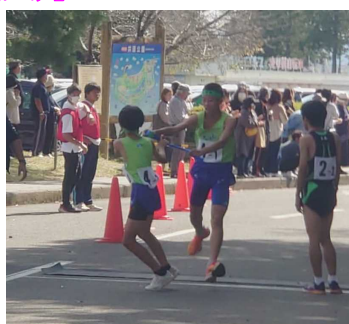
## 【英文スピーチコンテスト10/19（木）】

奨励賞  
2年 大木梨萌音さん



## 【芳賀郡市駅伝競走大会 10/24（火）】

男女とも  
8位入賞



※学校のホームページではカラー版を御覧いただけます。

